

第二回江戸川区総合教育会議 議事要旨

日 時： 令和6年4月23日（火）午後2時30分

場 所： 第一委員会室

出席者： 江戸川区長 齊 藤 猛
江戸川区教育委員会
教育長 蓮 沼 千 秋
教育長職務代理者 平 井 俊 一
委員 森 本 勝 也
委員 井 戸 道 代

（関係職員）

経営企画部長 矢 作 紀 宏
経営企画部企画課長 椎 名 真 雄
文化共育部長 岡 部 長 年
教育委員会事務局
教育推進課長 飯 田 常 雄
学務課長 田 森 健 志
教育指導課長 佐 藤 嘉 弘
学校施設課長 丸 山 由 紀
教育研究所長 百 々 和 世

〇区からの説明

<大綱素案（表紙）について>

- ・今回の大綱素案は学校に通う年代に限らず、すべての世代を対象として作成した
- ・また、共生社会ビジョンとのつながりを意識しつつ、多くの方に手に取ってもらえるものを作りたいという思いで取り組んだ
- ・「教育・学び×ともに生きる」は学校教育や生涯を通じた学びと、共生社会ビジョンの理念である「ともに生きる」がかけ合わさることをイメージしている
- ・共生社会ビジョンの表紙と同じイラストを使うことで、ビジョンとのつながりを意識した
- ・手に取ってもらうための工夫として、未来への扉を開くように教育大綱を開く仕掛け（開き観音折）を取り入れた

<大綱素案（見開き）について>

- ・共生社会ビジョンの柱である「人・社会・経済・環境・未来」に合わせて、教育・学びの視点で、教育委員の皆様からの意見を反映しながらまとめた
- ・中央上部にはこれまでの教育大綱のキーワードであった「家庭・地域・学校」という言葉を記載し、過去の大綱とのつながりを示している
- ・下部に記載したイラストは、学齢期だけでなく、生涯を通じた学びを表現している
- ・共生社会ビジョンの柱である5つの「ともに生きる」に合わせて整理した個別の内容については、次のとおり

「人とともに生きる」

- ・一人ひとりが自分に合った環境で学ぶこと、人と触れ合いながらお互いを思いやることをテーマとしている
- ・教育委員の方々にご意見いただいた①人権の重要性、②多様性や思いやりについて記載している

「社会とともに生きる」

- ・学校を地域の拠点として、本区の長所である地域力をさらに高め、教育を推進していくことをテーマとしている
- ・教育委員の方々にご意見いただいた①学校をさらに地域に開かれたものにする、②スポーツによる生きがいづくりについて記載している

「経済とともに生きる」

- ・学ぶことで成長し、学んだことを生かしていける環境を整えることをテーマとしている
- ・教育委員の方々にご意見いただいた①国際化する社会で活躍していくための人材育成、②職業体験を通して未来を描くことの重要性について記載している

「環境とともに生きる」

- ・世の中の問題を自分事として捉えられるようにすることや、災害時に助け合う関係性づくりをテーマとしている
- ・能登半島地震を受け、教育委員の皆様から防災意識向上、助けあいについてご意見いただいたことを取りまとめている

「未来とともに生きる」

- ・自分自身で未来を考え、選んでいくことをテーマとしている
- ・教育委員の方々にご意見いただいた①未来を考えて行動できる力を身につけることについて、②初代の綱から引き継ぐ「家庭、地域、学校の連携」について記載している

○委員からの意見

<大綱素案について>

- ・共生社会ビジョンと整合性がとれていて、つながりを意識しているのがいいと思う
- ・教育委員会で作成した教育目標・基本方針との整合性も確認し、問題ないと思った
- ・共生社会ビジョンの柱である「5つのともに生きる」にあわせてわかりやすく表現されている。扉を開けるような作りもいいと思う
- ・もう少し明るいイメージにできるといい。イラストの配置など再調整してほしい
- ・内容は伝わるが、わかりやすい言葉を使って修正してもらえるとなおいい
- ・「自分らしく学ぶ」という部分は素晴らしいと思った
- ・「学校が地域の拠点に」という部分があるが、子どもが学校から卒業してしまうと選挙の時以外学校に行く機会があまりない。災害時には学校が避難所になるなど、学校が中心となるので、学校が普段から身近な拠点となるとよい
- ・前回の教育大綱も素晴らしいと思ったが、今回の大綱は手に取りやすい、覚えやすいという点が良いと思う